



北条地区
コミュニティ
振興協議会
TEL25-3355



コミュニティの店

北条ふるさと市場「暖暖(だんだん)」開店!

コミュニティ会長 江尻 東磨



コミュニティのお店「暖暖」が五月二十七日、コミセン入り口の大和屋さん車庫をお借りして開店いたしました。

開店初日は好天に恵まれ、惣菜パック90個と約300個の単品惣菜はあっという間に完売。サービスの「暖暖コロッケ」は素朴で懐かしい味と、喜んでいただくことができました。中越地震後、地区内にはスーパーがなくなり、特に高齢者からは「毎日、菜っ葉ばかりじゃ元気も出ない。おかずの一つもつくりたいけど材料が買えない。コミュニティで何とかしてもらえないか」といった切実な声が日々寄せられるようになりまし。

設されました。当初の目的は地産地消を推進し、地元農産物の流通や手・工芸品などを開発して経済効果を得たり、高齢者の生きがいにつながるシステムを創出することでした。しかし、日々の食事に困っている皆さんの役に立つことが優先と検討し、惣菜を主体とした店を開設することにいたしました。その準備のために大勢の方々のご協力をいただき、五月中旬には営業許可がおりました。ちなみにこの財源は、市のコミュニティ活動推進事業補助金を充てさせていただきました。



♪♪ 開店セレモニー ♪♪

板に偽りあり、とお叱りをいただいている実態です。今後はご来店いただく皆さまの期待を裏切らないように精進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

住民起業室 室長 中川 ナツ子

北条ふるさと市場開設という大きな課題を与えられ、その可能性を探って一年が経過いたしました。最初の課題はどこにお店を出すかということでした。

予算の関係で贅沢はできませんが、利用される皆さまが便利な場所が条件になります。そんな時、大和屋の荒川さんが、地震時に仮設として使った車庫をご提案くださいました。検討の結果、コミュニティにも近いこともあり、ご厚意に甘えることになりました。



これで 300 円！
1 人前、充分だて



「ご利用ありがとうございます！」

次に、製造販売許可を得るためには施設改善が必須になります。この工事には白井建築様や四十刈板金様など、大勢の方々のご協力をいただきました。ありがとうございました。お陰さまで、万全の体制ではありませんが、五月二十七日に開店をさせていただきました。調理に当たることができました。調理に当たるスタッフはこれまでコミュニティ活動や地域活動にご尽力いただいた皆さまに声をかけさせていただき、ご協力いただいております。軌道にのるまでは、惣菜を中心にしたと思います。ですが、皆さまの中で地元農産物や手・工芸品、花等、販売する品物がありましたら、気軽に声をかけてください。

また、高齢者や障害をもたれた方には一番ご利用いただきたいと思っております。チラシをご覧になってもおられると思いませんので、ご近所の方は教えていただければ幸いです。

まだまだ不慣れで、ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。